

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394800011
事業所名	グループホームひびきの家豊明

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	運営推進会議のメンバーである町内会長が様々な地域の情報を提供し、それを契機に地域との交流・連携が一段と深くなっている。 生産組合による「野焼き」の情報も町内会長からもたらされ、実施当日の煙を見ることで利用者はかつての生活を懐かしみ、一種の回想法となった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	利用者・家族代表、市・高齢者福祉課の職員、町内会長、民生委員等が集まり、2ヶ月ごとに運営推進会議を開いている。 ホームからの状況報告に続き、参加メンバーによる活発な意見交換が行われており、タイムリーな話題に対し、それぞれの立場から有意義な意見が出されている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	運営推進会議には毎回市・高齢者福祉課の担当職員が出席しており、ホームの状況を的確に把握している。 生活保護受給者2名の利用があるため、市・社会福祉課とも絶えず連携を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	数年前、「ホーム便りのマンネリ化の改善」(利用者の生活を詳細に伝えてほしい)との家族意見があり、ホーム便りを廃刊として、新たに「思い出集」を編集して提示し、家族に喜ばれている。 「思い出集」は、撮りためた利用者の1年間の写真にコメントを付けて収めた写真集で、「焼き増ししてほしい」、「大きくしてほしい」等の要求も出ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎		